



学校便り

令和4年度-NO.7

sub- [サブ] ~の下に -ful [フル] ~に満ちた

「サブ」と言っても、「やっぱ与作でしょ」「兄弟船じゃね」「それは鳥羽一郎」という話ではありません。「フル」と言っても、「今年はフルやめとくわ」「ハーフか?」「いやウルトラマラソン(100km)や～」という話でも…、いやとりあえずマラソンのお話。subway(地下鉄)やsubmarine(潜水艦)など、sub-には「~の下に」という意味があります。マラソンでサブ3^{スリー}という、3時間を下回る、つまり2時間台で走ることを言います。今月は3年振りに神戸マラソンが開催されます。サブ4やサブ5などの目標を持って走られる方もおられるかも知れません。マラソンに全く興味のない人にとって苦しい思いをしてまで走る行為は理解に苦しむでしょう。ただ、走る人も苦しいことは嫌なはずです。ではなぜ走るのか?それは「楽をするため」です。ある陸上部の監督の言葉です。本番で楽をするために苦しい練習をするのだそうです。20kmを過ぎても30kmを過ぎても楽に走れたら、こんなに楽しいことはありません。

さあいよいよ音楽会です。しかし今、楽器の練習に苦しんでいる人もいるかも知れません。でも本番で楽に弾けたら、きっと楽しいでしょう。楽しい音楽会にするために、子どもたちは苦しい練習(当然楽しんで練習してる人も…)に励んでいるところです。中には大太鼓やシンバルのオーディションに落選してしまい、やりたかった楽器をできずに残念な思いをした人もいるでしょう。しかし今回の音楽会には、いわゆる「特別」楽器はありません。これまでの合奏では、その他大勢のイメージのあったリコーダーや鍵盤ハーモニカも、コロナ下では人数制限する必要があり、一人一人が重要なパートを担っているとも言えます。そういう新たな音楽会の形を2年前から模索してきました。colorful(色彩豊かな)やjoyful(嬉しい)など、-fulには「~に満ちた」という意味があります。音楽会では、beautifulでpowerfulでwonderfulな演奏が聴けるはずです。そして音楽会が行われる体育館が、感動「に満ちた」空間になることでしょう。

マラソンの話に戻りますが、マラソン初心者に陥りがちなミスは、オーバーペースです。最初は誰でも気持ち良く走れるので、つつい飛ばしてしまいます。そして、しんどくなり足を止めたが最後、もう走り始めることはできません。ゴールまでひたすら歩き続けるという苦行を味わうのです。教訓としては、しんどくなってから休んでも遅いということです。11月になり2学期もようやく折り返し地点です。しんどくなっていませんか? 早め早めに休むのが、長く走り続ける秘訣です。音楽会まで無理せず、がんばりましょう。



一回も 音鳴らさずに 曲終わる

(校長 河合 康一)

【11月の予定】

- 4日（火）社会見学・京都(6年)
- 7日（月）～9日（水）自然学校(5年)
- 17日（木）アルカイック(4年)
- 24日（木）音楽会(児童鑑賞)
- 25日（金）音楽会(児童鑑賞)
- 26日（土）音楽会(保護者鑑賞)
- 28日（月）代休日
- 29日（火）月曜時間割・委員会活動



【12月の主な予定】

- 7日（水）5時間目終了後下校
- 12日（月）委員会活動
- 13日（火）感謝する会(5時間目・ビデオ放送)
- 19日（月）個人懇談・給食後下校
- 20日（火）個人懇談・給食後下校
- 21日（水）個人懇談・給食後下校(給食最終日)
- 22日（木）個人懇談
- 23日（金）終業式



【創立150周年記念音楽会について】

今年度の音楽会は、創立150周年記念行事ですが、全校児童・保護者・地域の方々が一堂に会する場はありません。人数制限をした上で学年ごとの鑑賞会になります。ただし、例年ご来賓として行事にご招待させていただいている地域の方々については、来賓席を設ける予定です。高学年が音楽会で着る衣装をボランティアで制作してくださっている方もおられます。武庫小に関わりのある全ての方々というわけにはいきませんが、地域の方々も一緒に、児童の活躍する音楽会という形で150周年をお祝いできればと考えています。

【創立150周年記念誌等について】

150周年実行委員会で記念誌の編集作業を進めています。完成した記念誌は、26日の音楽会の時に全校児童への配布を予定しています。その他、記念品としてトートバッグや下敷きを用意しています。

また、教室の鍵に引き続き150周年の予算から、運動場掲揚用の校旗やお手紙ボックス(学校から配布するお手紙を学級ごとに入れておく棚)などを購入します。歴史ある学校ですが、小さな所からコツコツと新しくしていきます。